

2014年度 前期		リフレクションペーパー						
学科名	情報学科							
科目名	ソフトウェア工学							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	前期			
必修・選択の別	必修							
担当者	高橋圭一							
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーターフォールモデル、プロトタイプモデル、スパイラルモデルなど基本的なソフトウェア開発プロセスについて理解する。</li> <li>・要求分析、設計、実装、テスト、保守に関する基本的な用語及び手順を理解する。</li> <li>・プロジェクト管理、品質管理、工数見積りに関する概要及び基本的な用語及び手順を理解する。</li> </ul>							
日程と内容	4/ 7 導入講義 4/14 コンピュータとソフトウェア 4/21 ソフトウェア・ライフサイクル 4/28 ソフトウェア開発プロセス 資料 5/12 ソフトウェア見積技法 5/19 構造化分析・設計・プログラミング 資料 5/26 構造化分析・設計・プログラミング 6/ 2 構造化分析・設計・プログラミング 6/ 9 オブジェクト指向分析・設計・プログラミング 6/16 オブジェクト指向分析・設計・プログラミング 6/23 オブジェクト指向分析・設計・プログラミング 6/30 ソフトウェアの品質管理 7/ 7 プロジェクト管理 7/14 ソフトウェアの保守・標準化 7/21 まとめ 7/28 定期試験							
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	30%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	0%	計	100%				
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーターフォールモデル、プロトタイプモデル、スパイラルモデルなど基本的なソフトウェア開発プロセスについて理解する。:達成した</li> <li>・要求分析、設計、実装、テスト、保守に関する基本的な用語及び手順を理解する。:達成した</li> <li>・プロジェクト管理、品質管理、工数見積りに関する概要及び基本的な用語及び手順を理解する。:達成した</li> </ul>							
反省点	これまでの授業経験から学習範囲を狭め要点を絞ったにも関わらず、授業中の受講態度(寝ている、起きていてもノートしない)が悪いため、難易度の割に試験での合格率が低かった。今年初めての試みとして毎週、ノートを提出させてレポート点として評価した。授業態度は極めて改善されたがノートをとることに集中するあまり講義の話を聞かない(聞けない)という事態となった。							
来年度の計画	ノートは丸写しではなくあくまで「まとめノート」と要求したはずが、要約経験が少ないためか、丸写しが多かったことが問題。ノートや小テストなど方法を検討したい。							
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は8.1であった。アンケートのコメントに「わかりやすい」「資料が見やすい」などのコメントが複数あった。							
履修登録者数	70名	定期試験 受験者数	62名	合格者数	62名	合格率	100%	